



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月10日
東

上場会社名 株式会社オーバル 上場取引所
 コード番号 7727 URL https://www.oval.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷本 淳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 奥野 保 (TEL) (03)3360-5061
 管理部門部長
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	7,319	△14.7	△205	—	△118	—	△130	—
2020年3月期第3四半期	8,579	2.9	321	2.5	376	2.0	230	6.5

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 △80百万円(—%) 2020年3月期第3四半期 103百万円(14.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	△5.81	—
2020年3月期第3四半期	10.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	22,339	12,931	56.3
2020年3月期	20,909	13,150	61.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 12,581百万円 2020年3月期 12,791百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	4.00	—	3.00	7.00
2021年3月期	—	3.00	—		
2021年3月期(予想)				3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期 第2四半期末配当金の内訳 普通配当 3円00銭 記念配当 1円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,250	△13.8	△170	—	△80	—	△180	—	△8.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期3Q	26,180,000株	2020年3月期	26,180,000株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	3,775,991株	2020年3月期	3,775,991株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期3Q	22,404,009株	2020年3月期3Q	22,404,028株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述についてのご注意)

本資料に記載されている業績等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大が続いており、収束が見通せない状況が続いています。わが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大による景気後退から持ち直しを見せたものの、国内の新規感染者は増加が続いており、雇用環境の悪化や消費の鈍化などの影響が長期的に続くものと見込まれます。また、企業収益の減少を背景に設備投資計画は下方修正が予想され、当企業グループを取り巻く経営環境は大変厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当企業グループは、中期経営計画「ADVANCE 2.0 - 2021」の最終年度として「新製品」「グローバル」「新規事業」の拡大戦略を掲げ、業績の向上による継続的成長を目指し、一方で「収益性向上」を経営基盤強化の基本方針とし、現在の厳しい経済環境に左右されにくい強固な経営基盤を構築するため、効率的な組織の改編および最適化にも取り組んでまいりました。

なお、当企業グループでは出張の制限や在宅勤務、オンライン会議などを実施し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に努めつつ、受注の確保に向けた営業活動を行っております。

当第3四半期連結累計期間では、無線流量計2機種（フローペット-5G、Eggs DELTA II/セイコーインスツル株式会社製の無線センサーネットワーク「ミスター省エネ」に対応）ならびに流量パルスノードや高精度・汎用形容積流量計「ULTRA OVAL Type S」の拡販を展開してまいりました。また、センサ部門を中心に新規顧客の獲得や既存顧客への提案型の深耕営業に取り組んでまいりました。さらに、財務安定性を確保するため、不要不急の投資抑制、生産コストダウン、経費削減の徹底、ならびに運転資金の確保に取り組んでおります。

しかしながら、国内外での設備投資を控える影響を大きく受けた結果、受注高は7,676百万円（前年同四半期比9.1%減）となりました。また、売上高は新型コロナウイルス感染症拡大の影響による石油関連プロジェクトの延期や中止、またロックダウンなどによる出荷の停止などによりシンガポール・中国・韓国の子会社で低迷が続いており7,319百万円（同14.7%減）となりました。利益面につきましては、コストダウンや経費抑制に取り組んでいるものの売上高の減少の影響が大きく、営業損失は205百万円（前年同四半期は営業利益321百万円）、経常損失は118百万円（前年同四半期は経常利益376百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は130百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益230百万円）となりました。

事業部門別の業績は、以下のとおりであります。

(センサ部門)

受注高は電力関連業界向けに天然ガス計測の大口案件を受注しましたが、海外向けや化学関連業界向けなどを中心に低迷し、4,894百万円（前年同四半期比11.3%減）となりました。

売上高は化学関連業界向けでは前年同四半期並みを維持したものの、海外向けや石油関連業界向けが大きく落ち込んだことにより4,510百万円（同17.9%減）となりました。

(システム部門)

海外大口システム案件は、石油関連プロジェクトの延期や中止の影響を大きく受けており、国内も石油関連業界を中心に低迷しているため、受注高は1,101百万円（同7.8%減）、売上高は1,107百万円（同18.1%減）となりました。

(サービス部門)

主要顧客である石油関連業界向けが、原油価格の下落、業界再編などにより市場環境は厳しい状況が続いておりますが、保全計画サポートサービスなど地道できめの細かいメンテナンス活動に注力してまいりました。その結果、受注高は1,680百万円（同3.1%減）、売上高は1,701百万円（同2.0%減）と前年同四半期をわずかに下回る結果となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,430百万円増加し、22,339百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ1,054百万円増加し、11,147百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が752百万円減少しましたが、現金及び預金が1,495百万円、電子記録債権が145百万円、棚卸資産が106百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ375百万円増加し、11,192百万円となりました。これは主に、リース資産が58百万円減少しましたが、建設仮勘定が419百万円、投資有価証券が100百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,649百万円増加し、9,407百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ1,469百万円増加し、5,068百万円となりました。これは主に、賞与引当金が216百万円減少しましたが、短期借入金が1,463百万円、未払金が277百万円それぞれ増加したことによるものであります。固定負債は179百万円増加し、4,339百万円となりました。これは主に、長期借入金が103百万円、修繕引当金が71百万円それぞれ増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ218百万円減少し、12,931百万円となりました。これは主に、利益剰余金が264百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期通期の連結業績予想につきましては、2020年5月15日に公表いたしました数値から変更しております。詳細は2021年2月10日に公表いたしました「業績予想の修正および中期経営計画の期間延長に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,518,666	4,013,792
受取手形及び売掛金	3,801,382	3,048,640
電子記録債権	739,300	885,051
有価証券	28,762	—
商品及び製品	785,678	822,095
仕掛品	416,145	612,864
原材料及び貯蔵品	1,457,667	1,331,008
その他	349,830	440,077
貸倒引当金	△4,240	△5,978
流動資産合計	10,093,193	11,147,552
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,753,648	5,753,683
その他(純額)	2,585,895	2,940,215
有形固定資産合計	8,339,544	8,693,898
無形固定資産		
のれん	541,223	496,121
その他	374,473	338,550
無形固定資産合計	915,697	834,672
投資その他の資産		
その他	1,574,675	1,677,206
貸倒引当金	△13,650	△13,650
投資その他の資産合計	1,561,025	1,663,556
固定資産合計	10,816,267	11,192,126
資産合計	20,909,461	22,339,679

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	781,856	695,431
短期借入金	1,285,086	2,749,036
未払法人税等	35,495	15,494
賞与引当金	484,659	267,721
その他	1,011,449	1,340,853
流動負債合計	3,598,547	5,068,537
固定負債		
長期借入金	901,331	1,005,003
再評価に係る繰延税金負債	1,513,700	1,513,700
役員退職慰労引当金	13,025	13,176
環境対策引当金	5,465	5,465
製品回収関連損失引当金	2,882	2,882
修繕引当金	—	71,250
退職給付に係る負債	1,471,956	1,520,710
資産除去債務	23,388	23,817
その他	228,478	183,264
固定負債合計	4,160,229	4,339,270
負債合計	7,758,776	9,407,808
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,200,000	2,200,000
資本剰余金	2,122,305	2,122,305
利益剰余金	5,418,663	5,154,100
自己株式	△402,987	△402,987
株主資本合計	9,337,982	9,073,419
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,989	93,879
土地再評価差額金	3,386,928	3,386,928
為替換算調整勘定	189,615	159,185
退職給付に係る調整累計額	△154,001	△131,950
その他の包括利益累計額合計	3,453,532	3,508,041
非支配株主持分	359,169	350,409
純資産合計	13,150,684	12,931,870
負債純資産合計	20,909,461	22,339,679

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	8,579,297	7,319,010
売上原価	5,392,982	4,734,085
売上総利益	3,186,314	2,584,924
販売費及び一般管理費	2,865,160	2,790,427
営業利益又は営業損失(△)	321,154	△205,502
営業外収益		
受取利息	9,483	7,976
受取配当金	12,305	12,250
持分法による投資利益	16,952	15,232
受取賃貸料	57,801	58,011
助成金収入	—	63,500
その他	32,055	20,481
営業外収益合計	128,598	177,452
営業外費用		
支払利息	26,998	20,335
賃貸収入原価	36,935	68,321
為替差損	8,401	423
その他	782	1,850
営業外費用合計	73,117	90,931
経常利益又は経常損失(△)	376,635	△118,981
特別利益		
固定資産売却益	80	25,663
投資有価証券売却益	1,495	—
災害による保険金収入	11,796	10,678
特別利益合計	13,372	36,341
特別損失		
固定資産売却損	55	—
有形固定資産除却損	2,251	16,126
災害による損失	32,731	—
特別損失合計	35,037	16,126
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	354,970	△98,765
法人税、住民税及び事業税	50,192	35,097
法人税等調整額	75,266	△8,435
法人税等合計	125,459	26,662
四半期純利益又は四半期純損失(△)	229,511	△125,427
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,406	4,711
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	230,917	△130,139

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	229,511	△125,427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,828	62,889
為替換算調整勘定	△132,299	△39,958
退職給付に係る調整額	20,019	22,050
持分法適用会社に対する持分相当額	△3,380	49
その他の包括利益合計	△126,488	45,030
四半期包括利益	103,022	△80,397
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	130,411	△75,629
非支配株主に係る四半期包括利益	△27,389	△4,767

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(修繕引当金の計上)

第1四半期連結会計期間より、将来の本社ビルの大規模修繕に要する費用の支出に備えるため、その支出見込額に基づき修繕引当金を計上しております。

(新型コロナウイルス感染症の影響に係る会計上の見積り)

第2四半期連結会計期間の四半期報告書の(追加情報)に記載した、新型コロナウイルス感染症の影響と収束時期等を含む仮定および会計上の見積りについて、重要な変更はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。